

胃がんリスク検診（ABC検診）を受けてみませんか

ピロリ菌の有無と萎縮性胃炎でわかる胃の健康度（自費 3,700 円）

どなたでも簡単に採血のみで胃がんのリスクが調べられます。

胃疾患リスクABC分類報告書			
			157-00
受診者名 ホケン タロウ			様
カルテNo. <u>ホウコク ミホン</u>	検体 No. <u>52901</u>		
年 令 <u>21 才</u>	整理 No. <u>90181</u>		
性 別 <u>男</u>	採取日 <u>24年12月 4日</u>		
診療科 <u>内科 外来</u>	受付日 <u>24年12月 4日</u>		
Dr 名	報告日 <u>24年12月 5日</u>		

検査項目	検査結果	判定	判定基準
ペプシノゲン I	75.0 ng/mL	(-)	ペプシノゲン I 値及び I / II 比 (3+) 30.0ng/mL以下 且つ 2.0以下 (2+) 50.0ng/mL以下 且つ 3.0以下 (1+) 70.0ng/mL以下 且つ 3.0以下 (-) 70.1ng/mL以上 又は 3.1以上
ペプシノゲン II	30.0 ng/mL		
ペプシノゲン I / ペプシノゲン II 比	2.5		
ヘリコバクター・ピロリ抗体	10.0 U/mL	(+)	(+) 10.0U/mL以上 (-) 10.0U/mL未満

あなたの分類結果です。

A群 健康的な胃粘膜です。 

B群 少し弱った胃粘膜です。潰瘍等に注意し、内視鏡検査を受けましょう。 

C群 胃粘膜が萎縮しています。定期的な内視鏡検査を受けましょう。 

D群 萎縮がかなり進んだ胃粘膜です。毎年の内視鏡検査を受けましょう。 

自分の分類結果を把握し、B、C、D群の人は内視鏡検査を定期的に受けるなどして病気の早期発見につとめましょう。

※現在の胃の病気の有無はわかりません。精密検査と併せて受けましょう

あなたの胃はどのタイプ?

胃の検診で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を推測する検査です。

この方法とは別に、2種の血液検査によって〈胃の健康度〉を調べることができます。



H.ピロリ除菌治療を受けた方 (この検査には不適な方です)

ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の方は、除菌群として、定期的な内視鏡検査を受診しましょう。



〈この検査に不適な方〉

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 上部消化管疾患治療中の方
- プロトンポンプ阻害剤服用中の方
- 胃切除後の方
- 腎不全の方
- H.ピロリ菌除菌治療を受けた方

監修 / 川崎医科大学 総合臨床医学 井上和彦